

(講座) 分子創薬科学 (研究室) 薬品製造化学
(氏名) 畑山 範 (職名) 教授

【研究テーマ】

1. 新規合成反応剤の開発研究
2. 効率的有機分子構築法の開発研究
3. 生理活性天然物の合成研究
4. ビタミンD化合物の合成研究

【論文発表】

A 欧文

(A-a) 原著論文

1. S. Hatakeyama, S. Nagashima, N. Imai, K. Takahashi, J. Ishihara, A. Sugita, T. Nihei, H. Saito, F. Takahashi, N. Kubodera: Synthesis and biological evaluation of a 3-positon epimer of $1\alpha, 25$ -dihydroxy- 2β -(3-hydroxypropoxy)vitamin D₃ (ED-71), *J. Steroid Biochem.*, **103**, 222-226 (2007). (IF: 2.825)
2. M.F.A. Amer, K. Takahashi, J. Ishihara, S. Hatakeyama: Total synthesis of citrafungin A, *Heterocycles* **72**, 181-185 (2007). (IF: 1.077)
3. A. Fujiyama, M. Kaneko, K. Takahashi, J. Ishihara, S. Hatakeyama, N. Kubodera: Synthesis of 1,3-diepi-ED-71, a biologically important diastereomer of $1\alpha, 25$ -dihydroxy- 2β -(3-hydroxypropoxy)vitamin D₃ (ED-71), *Heterocycles*, **71**, 2263-2271 (2007). (IF: 1.077)
4. E. O. Onyango, J. Tsurumoto, N. Imai, K. Takahashi, J. Ishihara, S. Hatakeyama: Total synthesis of neooxazolomycin, *Angew. Chem. Int. Ed.*, **46**, 6703-6705 (2007). (IF: 10.232)
5. K. Takahashi, T. Matsumura, J. Ishihara, S. Hatakeyama: A highly stereocontrolled total synthesis of dysiherbaine, *Chem. Commun.*, 4158-4160 (2007). (IF: 4.521)

(B-c) 著書

1. 創薬をめざす有機合成戦略 (宍戸宏造・新藤 充 編): 第9章 ビタミンD₃誘導体の合成、化学同人、2007.

【学会発表】

A 国際学会

(A-a) 招待講演

1. S. Hatakeyama: β -Isocupreidine-Catalyzed Baylis-Hillman Reaction, International Conference On Asymmetric Organocatalysis, Otsu, Japan, May 28-29 (2007).
2. S. Hatakeyama: Cincona Alkaloid-catalyzed Asymmetric Baylis-Hillman Reaction Governed by Hydrogen Bonding, The 18th Joint Seminar of the Kyushu Branch of the Chemical Society of Japan and the Busan Branch of the Korean Chemical Society,

Kita-Kyushu, Japan, May 31 (2007).

3. S. Hatakeyama: β -Isocupreidine-catalyzed Asymmetric Baylis-Hillman Reaction, 2007 International Symposium on Catalysis and Fine Chemicals (C&FC2007), Singapore, December 17-21 (2007).

B 国内学会

(B-a) 招待講演

1. 畑山 範：高度置換アルカロイドの合成：その発想と展開：徳島文理大学大学院ハイテク・リサーチセンター講演会、徳島、平成 19 年 12 月 15 日。

(B-b) 一般講演

1. 松村貴志、高橋圭介、石原 淳、畑山 範：Dysiherbaine の高立体選択的合成研究：日本薬学会第 127 年会、富山、平成 19 年 3 月 (2007)。
2. 西野幸宏、高橋圭介、石原 淳、畑山 範：昆虫摂食阻害剤アザジラクチンの合成研究：日本薬学会第 127 年会、富山、平成 19 年 3 月 (2007)。
3. 高橋圭介、原口那津美、石原 淳、畑山 範：カイトセファリンの合成研究：日本薬学会第 127 年会、富山、平成 19 年 3 月 (2007)。
4. Evans Otieno Onyango、今井直子、鶴本穰治、高橋圭介、石原 淳、畑山 範：ネオオキサゾロマイシンの全合成：日本薬学会第 127 年会、富山、平成 19 年 3 月 (2007)。
5. 緑 美智子、高橋圭介、石原 淳、畑山 範：シリカゲルが引き起こす新規 Conia-エン反応に基づくサリノスポラミド A の合成研究、第 17 回万有福岡シンポジウム、福岡、5 月 (2007)。
6. 高橋圭介、緑 美智子、石原 淳、畑山 範：Conia-ene 型反応に基づく新規「ラクタム構築法：Salinosporamide A と Neooxazolomycin の合成、第 49 回天然有機化合物討論会、札幌、9 月 (2007)。
7. 高橋圭介、松村貴志、石原 淳、畑山 範：Dysiherbaine の効率的立体制御合成、第 33 回反応と合成の進歩シンポジウム、長崎、11 月 (2007)。
8. 今井直子、Evans Otieno Onyango、鶴本穰治、高橋圭介、石原 淳、畑山 範：抗腫瘍抗生物質オキサゾロマイシン類の全合成研究、第 24 回日本薬学会九州支部大会、福岡、12 月 (2007)。
9. 緑 美智子、川野 桂、高橋圭介、石原 淳、畑山 範：Conia-ene 型反応を基軸とする新規ラクタム構築法の開発、第 24 回日本薬学会九州支部大会、福岡、12 月 (2007)。
10. 芝原攝也、藤野正堂、高橋圭介、石原 淳、畑山 範：Phoslactomycin B の合成研究、第 24 回日本薬学会九州支部大会、福岡、12 月 (2007)。
11. 近藤 維志、高橋 圭介、石原 淳、畑山 範：Marinomycin A の合成研究：第 24 回日本薬学会九州支部大会、福岡、12 月 (2007)。

【研究費取得状況】

1. 特異な細胞機能制御活性を有する創薬リード天然物の高効率合成、基盤研究(A) (代表)
2. α -ケトエステルを基質とする効率的置換クエン酸不斉構築法の開発、特定領域研究

(代表)

【学会役員等】

1. 有機合成化学協会九州山口支部監事
2. 日本薬学会九州支部幹事

【過去の研究業績総計】

原著論文 (欧文)	129 編	(邦文)	0 編
総説 (欧文)	2 編	(邦文)	3 編
著書 (欧文)	1 編	(邦文)	8 編
紀要 (欧文)	0 編	(邦文)	0 編
特許	10 件		